

はえばる社協だより

ちむくくる

第244号



社会福祉法人 発行/南風原町社会福祉協議会 編集/社協だより編集委員会

〒901-1104 南風原町字宮平697番地10 ☎(098)889-3243 ☎(098)889-6269

☎https://www.haebaru-shakyo.org ✉syakyou@pub.town.haebaru.okinawa.jp

南風原町 町花
ブーゲンビリア

表彰式



5月28日(土)町中央公民館・黄金ホールにて、「令和4年度町老連老人クラブ大会及び本土復帰五十周年記念芸能鑑賞会」が開催され、来賓、単位クラブ会員等約200人が参加しました。

神里良光町老連会長から「健康で楽しい魅力ある活動を目指します」とのあいさつがあり、赤嶺正之町長、玉城勇町議会議長、徳村政福南部地区老連会長から祝辞が贈られました。

令和3年度の活動報告、決算報告、監査報告、令和4年の役員紹介後、活動計画、予算報告が行われました。

健康で楽しい魅力ある活動をめざして

南風原町老人クラブ連合会

また、町老連の発展、活動に貢献された方々へ表彰状や感謝状が授与され、会場からはあたたかい拍手が送られました。

引き続き本土復帰50周年を記念して県立芸術大学有志による若々しく躍動感溢れる演舞を鑑賞し、会員からは「ぬちぐすいしたさ」「素晴らしい」「元氣貰えるね」と喜びの声が上がり、アンコールのカチャシーでは会場が揺れるほどの大盛況で令和4年度の会活動の始動に弾みがつきました。

町老人クラブ被表彰者

個人表彰 2名

小橋川恒一(大名)

金城盛功(大名)

個人感謝 8名

金城信吾(宮城)

中村勉(宮平)

野原広政(喜屋武)

仲里勝一(津嘉山)

神里正幸(山川)

赤嶺義光(神里)

神山光永(新川)

西原忍(宮平)

／おめでとうございます／



県立芸術大学
有志による演舞



大会の様子

ちむぐくるで笑顔あふれる 福祉のまち南風原

令和3年度社協活動の概要報告



本会の令和3年度事業報告と決算が理事会の承認並びに定時評議員会の決議を受けましたので報告いたします。

本会では、創設以来住民のいのちと暮らしを地域で守り、高めていく役割を担い、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、町民の福祉ニーズを受け止め、公的福祉の充実を働きかけるとともに、住民主体の地域福祉活動、在宅福祉サービスを企画・実施してきました。

しかし、令和3年度も新型コロナウイルス感染症拡大の長期化により、これまで住民が積極的に関与してきた支えあい・たすけあいの活動に大きな影響を与え、地域で実施されてきた多くの事業・活動が休止となりました。また、本会においても職員による訪問活動の自粛をはじめ事業及び各種研修会等の多くが中止となりました。

そのような状況のなか、町からの補助・委託事業である「生活支援体制整備事業」「支えあいまちづくり事業」においては、高齢者の生活ニーズの把握と社会資源のマッチングをとおして関係機関等のネットワークの構築をはじめ生活支援体制づくりを図るとともに、コミュニケーションソーシャルワークの手法を活かし、地域の支えあい・たすけあいの体制づくりを推進しました。

また、新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業等により、一時的又は継続的に収入が減少した世帯を対象に特例で貸し付けを行う「緊急小口資金・総合支援資金」においては、800件以上の相談・申込等があり、町民が安定した生活を送れるよう迅速な対応・調整等を行いました。

さらに、「子ども食堂」では、誰でも参加しやすい居場所としてボランティアや地域の事業所の協力を得て、感染対策として会食を避けテイクアウトにて中止することなく実施し、子供たちを見守りながら取り組みました。

なお、コロナ禍の状況で企業をはじめ町民の皆さまから、食料品など多く寄贈が寄せられ困っている世帯へ配分いたしました。その他にもさまざまな事業を実施しました。実績は次のとおりです。

会務の運営

社協の活動方針や事業計画、予算、決算の審議などを行う理事会、評議員会を開催したほか、業務・予算の執行状況の点検を行う正副会長会を毎月開催し、事業総括会議では職員相互で事業及び活動の進捗状況を確認し事業の継続又は見直しなどの検討を行いました。

- 理事会、評議員会の開催
- 評議員選任・解任委員会の開催
- 正副会長会の開催

- 法人監査の実施
- 事業総括会議の開催

調査研究及び広報・啓発活動

社会福祉に対する理解を深めるため「社協だより（ちむぐくる）」の定期的な発行やホームページ・ブログなどを積極的に活用するなど福祉意識の高揚を図りました。

- 低所得世帯の調査
- 企画・広報委員会の開催
- 総務・財政委員会の開催
- 社協だより「ちむぐくる」の発行・配布

福祉教育及びボランティア活動の推進

福祉教育推進基本方針に基づき、児童・生徒を中心に出前講座の実施をはじめ、福祉教育推進事業など福祉教育を意識した事業・活動を推進しました。

- 福祉教育連絡会の開催
- 福祉教育推進事業
- 町内学校教育等福祉研修会の開催
- 総合的学習の時間・出前講座への対応
- 手話ボランティア養成講座の開催
- ボランティア（団体）の登録・斡旋
- ボランティア運営委員会の開催
- 民間福祉資金の活用・紹介
- ボランティア保険の加入促進

福祉総合相談事業

町民の抱える心配ごとの解決を図るため、一般相談を実施するとともに専門的な相談・支援が行えるよう弁護士による法律相談、司法書士相談を行いました。

- ふれあい福祉相談室の設置（一般相談、法律相談、司法書士相談）

低所得者福祉に関する事業

経済的な不安を抱える住民に対し、生活福祉資金貸付事業や助け合い金庫貸付事業をとおした支援を行うとともに、フードバンクなどの関係機関と連携しながら食料品や生活用品等の物品を提供するなどの支援を行いました。

- 助け合い金庫（貸付事業）の実施
- 生活福祉資金・福祉資金、新型コロナウイルス特別貸付「緊急小口資金・総合支援資金」の実施
- 社会的孤立対策事業の実施
- フードドライブ運動の実施
- 子ども食堂の開催（テイクアウト）
- コロナ感染世帯等への緊急一時支援（新規）
- 食料支援
- 買い物支援
- 食料品・お米券等の提供による援助
- 年末激励金の支給

高齢者福祉に関する事業

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活を継続できるよう、新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底しながら、各種在宅福祉サービスの提供をはじめ介護予防・健康増進活動、社会参加活動の推進に努めました。

- 老人福祉月間の広報活動
- 在宅介護支援センター運営事業の実施
- 友愛訪問事業の実施
- 高齢者健康づくり推進事業の実施
- 一般高齢介護予防通所事業の実施
- 軽度生活援助事業の実施
- ふれあいコールサービス事業の実施



実施

- 家族介護者交流事業・家族介護教室の実施
- 高齢者外出支援サービス事業の実施
- 生活支援体制整備事業の実施
- 訪問介護事業（介護保険事業）の実施
- 介護予防・日常生活支援総合事業における第1号事業（介護保険事業）の実施

児童福祉・障がい（児）者福祉、ひとり親家庭福祉に関する事業

住民相互の支えあい・たすけあいによる安心して子育てのできる環境づくりや障がいのある方の社会参加と自立した社会生活を営むことができるよう各種事業を実施しました。

- 児童福祉月間の広報活動
- 子育てサロンの実施
- 子育て講演会
- 子育てサロンサポーター連絡会の開催
- ファミリーサポートセンター運営事業の実施
- 養育支援訪問事業
- 居宅介護事業同行支援事業（障害福祉サービス事業）の実施
- 県身体障害者スポーツ大会への協力・STT競技への協力
- 声の広報等発行事業・福祉機器リサイクル事業（地域生活支援事業）の実施
- 障がい者相談支援事業の実施

支えあいまちづくり事業、地域支え合い体制づくり事業

小学校区ごとにコミュニケーションソーシャルワーカーを配置し、アウトリーチによる状況把握や、身近な地域での相談・支援に取り組むとともに、住民相互の支えあい・たすけあい活動の活性化を目

- 指し、住民参加のもと各種事業に取り組みました。
- コミュニティソーシャルワーカーの配置
- 福祉マップづくり
- 福祉協力員連絡会の開催
- 見守り活動、生活支援活動
- 企業等との見守り協定の締結(情報提供等)
- まちづくりサポートセンターの設置
- 小地域福祉ネットワークづくり推進事業の実施
- 支えあい・たすけあう地域づくり事業の実施
- 地域づくりを支える人材育成事業の実施
- 移動相談所の設置運営
- 日常生活自立支援事業等の推進
- 判断能力が低下した方に対し、安心して地域で生活できるよう、福祉サービス利用や預金通帳の預かりなどの支援や計画的かつ日常的な金銭管理を必要としている方に対し支援を行いました。
- 日常生活自立支援事業の実施
- 日常的な金銭管理支援事業の実施
- 社協会員加入推進
- 自主財源の安定的な確保と会員制度をととした住民参加の促進を目的に実施しました。
- その他の事業
- チャリティー芸能公演は中止となりましたが、苦情解決事業、共同募金運動への協力、マイクロバスの貸し出しなどを行いました。
- また、福祉団体の支援として、事務局を担うとともに助成も行いました。

資金収支計算書（第一号第一様式）
(自) 令和3年4月1日 (至) 令和4年3月31日 (単位：円)

事業活動による収支			
収 入		支 出	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
・会費収入	5,147,000	・人件費支出	151,287,893
・寄附金収入	3,492,123	・事業費支出	20,837,151
・経常経費補助金収入	102,940,611	・事務費支出	5,449,268
・受託金収入	58,699,521	・貸付事業支出	20,000
・貸付事業収入	92,000	・分担金支出	51,000
・事業収入	773,150	・助成金支出	3,302,500
・介護保険事業収入	12,962,550	・負担金支出	214,008
・障害福祉サービス等事業収入	7,411,770		
・受取利息配当金収入	4,353		
・その他の収入	28,890		
事業活動収入計 (1)	191,551,968	事業活動支出計 (2)	181,161,820
事業活動資金収支差額 (3) = (1) - (2)			10,390,148
施設整備等による収支			
収 入		支 出	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
		・固定資産取得支出	4,647,538
		・ファイナンス・リース債務の返済支出	753,912
施設整備等収入計 (4)	0	施設整備等支出計 (5)	5,401,450
施設整備等資金収支差額 (6) = (4) - (5)			△ 5,401,450
その他の活動による収支			
収 入		支 出	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
・基金積立資産取崩収入	3,252,000	・積立資産支出	7,661,082
その他の活動収入計 (7)	3,252,000	その他の活動支出計 (8)	7,661,082
その他の資金収支差額 (9) = (7) - (8)			-4,409,082
予備費支出 (10)	688,000		
当期資金収支差額合計 (11) = (3) + (6) + (9) - (10)			579,616
前期末支払資金残高 (12)	30,483,785		
当期末支払資金残高 (11) + (12)			31,063,401

※予備費充当 688 千円は、介護保険事業で 487 千円（非常勤給与支出 487 千円）、障害福祉サービス事業で 201 千円（非常勤給与支出 163 千円、車輦費支出 28 千円、保険料支出 8 千円、県共済会退職共済金掛金支出 2 千円）に充当使用した額である。

事業活動計算書（第二号第一様式）
(自) 令和3年4月1日 (至) 令和4年3月31日 (単位：円)

サービス活動増減の部			
収 益		費 用	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
・会費収益	5,147,000	・人件費	156,623,499
・寄附金収益	3,492,123	・事業費	20,837,151
・経常経費補助金収益	102,940,611	・事務費	5,449,268
・受託金収益	58,699,521	・分担金費用	51,000
・事業収益	773,150	・助成金費用	3,302,500
・介護保険事業収益	12,962,550	・負担金費用	214,008
・障害福祉サービス等事業収益	7,411,770	・基金組入額	0
・その他の収益	28,890	・減価償却費	2,083,046
サービス活動収益計 (1)	191,455,615	サービス活動費用計 (2)	188,560,472
サービス活動増減差額 (3) = (1) - (2)			2,895,143
サービス活動外増減の部			
収 益		費 用	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
・受取利息配当金収益	4,353		
・その他のサービス活動外収益	0		
サービス活動外収益計 (4)	4,353	サービス活動外費用計 (5)	0
サービス活動外増減差額 (6) = (4) - (5)			4,353
経常増減差額 (7) = (3) + (6)			2,899,496

特別増減の部			
収 益		費 用	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
・その他の特別収益	106,126	・固定資産売却損・処分損	3
特別収益計 (8)	106,126	特別費用計 (9)	3
特別増減差額 (10) = (8) - (9)			106,123
当期活動増減差額 (11) = (7) + (10)			3,005,619
繰越活動増減差額の部			
前期繰越活動増減差額 (12)			56,532,380
当期末繰越活動増減差額 (13) = (11) + (12)			59,537,999
基本金取崩額 (14)			0
基金取崩額 (15)			3,252,000
その他の積立金取崩額 (16)			
その他の積立金積立額 (17)			206
次期繰越活動増減差額 (18) = (13) + (14) + (15) + (16) - (17)			62,789,793

貸借対照表（第三号第一様式）
令和4年3月31日現在 (単位：円)

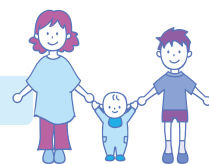
資 産 の 部		負 債 の 部	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
流動資産	46,322,786	流動負債	24,400,777
・現金預金	40,986,710	・事業未払金	6,679,102
・事業未収金	4,672,668	・その他の未払金	0
・未収金	0	・1年以内返済予定リース債務	781,440
・前払金	663,408	・未払費用	7,422,491
固定資産	191,357,988	・預り金	33,201
基本財産	1,000,000	・職員預り金	1,124,591
・基本財産特定預金	1,000,000	・賞与引当金	8,359,952
その他の固定資産	190,357,988	固定負債	75,937,338
・建物	2,182,070	・リース債務	2,539,680
・車輦運搬具	3,812,091	・退職給付引当金	73,397,658
・器具及び備品	2,918,644	負債の部合計	100,338,115
・有形リース資産	3,321,120	純 資 産 の 部	
・ソフトウェア	429,917	基本金	1,000,000
・助け合い金庫貸付金	2,257,000	・基本金	1,000,000
・福祉基金積立資産	63,243,570	基金	63,243,570
・介護保険事業財政調整基金積立資産	10,309,296	・福祉基金	63,243,570
・退職給付引当資産	101,884,280	その他の積立金	10,309,296
		・介護保険事業財政調整基金積立金	10,309,296
		次期繰越活動増減差額 (うち当期活動増減差額)	62,789,793
		純資産の部合計	137,342,659
資産の部合計	237,680,774	負債及び純資産の部合計	237,680,774

博愛病院

発達障害・不安・うつ
物忘れ・睡眠・介護の相談
アルコールに関する相談

◎デイサービスセンターはくあい
南風原町新川485-1 TEL(098)889-4830

い手に! ~7月は社協会員加入推進月間です~



社会福祉協議会は誰もが安心して暮らせるまちづくりを推進するため、地域におけるさまざまな福祉の問題について住民をはじめ関係機関団体などとともに考え、解決に向けて取り組む民間福祉団体です。

本会の財源は主に行政からの補助金や受託金、共同募金の配分金、寄附金などとなっていますが、より充実した地域福祉活動を推進する上では町民の皆さまからご協力いただく社協会費は重要な財源となっています。

町民の皆さまには本会事業及び活動の趣旨をご理解いただき、会員としてその活動を支えてくださいますようご協力をお願いいたします。

社協会費は次のような事業などに有効に活用されています



友愛訪問活動促進事業

民生委員や福祉協力員などが定期的にひとり暮らし高齢者世帯などを訪問し安否の確認を行いながら、あわせて孤独感の解消を図ります。

高齢者健康づくり推進事業

ちむぐる館内に設置されている健康器具などを有効活用して、高齢者の健康・生きがいをづくりを推進し、また積極的な参加を促進するため町内を巡回する福祉バスを運行しています。



子育て支援事業

安心して子育てすることができる環境づくりのため「子育てサロン」、「子育て講演会」などを開催しています。

広報、啓発活動

(社協だより「ちむぐる」の発行など)

各種福祉月間・週間に関する啓発、また、福祉への理解や関心を深めてもらうため、毎月社協だより「ちむぐる」を発行しています。



医療法人 正 清 会

理事長 与儀 英明

久田病院

精神科・心療内科・老年精神科
※認知行動療法を実施しています。

〒901-1101 南風原町字大名275番地
TEL. 098-889-3206 FAX. 098-889-5311
URL: <http://kudahp.jp/>
E-mail: kuda-ph@tea.ocn.ne.jp

介護老人保健施設 うりずん

〒901-1301
与那原町字板良敷1281-1
TEL. 098-944-7000
FAX. 098-944-7003
E-mail: urizun@eos.ocn.ne.jp

就労継続支援 B 型事業所 ライフサポート久田

〒900-0014
那覇市松尾2-15-27
TEL・FAX. 098-867-7890



町民一人ひとりが地域福祉の担

地域福祉を支える社協の応援企業 Vol.7

社協会員(特別会員)様のご紹介

本会の会員加入の趣旨や活動にご賛同いただいた事業所をシリーズで紹介いたします。第7回目は「ユーアイホーム株式会社」様です。

★特別会員に加入した理由

地域密着のリフォーム会社として、地域の発展に少しでも貢献できればと思い加入させていただきました。

★地域との関わりについて

地域の清掃活動やイベントへの参加、高齢者住宅を対象に手すりの設置(ボランティア活動)やバリアフリー工事等を行ってきました。

また、SDGsにも積極的に取り組みより良い地域社会づくりに貢献したいと思っています。

★会社のPR

弊社は総合リフォームを主に新築、増改築、二世帯住宅、バリアフリー、補修修繕、店舗改修といった工事を中心に住む人の想いを形にするお手伝いをさせていただいております。

創業以来たくさんのお客様との出会いが私たちの誇りであり財産です。お客様が何を求めているのか、最優先するものはなにかをじっくりと話し合い理解した上でお客様に一番あった工事プランをご提案させていただきます。また、工事完了後の保守点検やアフターメンテナンスも責任を持って行ってまいります。

地域の皆様に安心して工事を任せていただけるように、これからも「誠心誠意」社員一同日々努力してまいります。



スタッフの皆様

施工例



ユーアイホーム株式会社 様

〒901-1103 南風原町字与那覇335-2

TEL.098-894-4041

代表取締役: 高良 盛幸 様

創業: 平成17年

従業員数: 7人(令和4年5月現在)

事業内容: 総合リフォーム業



代表取締役
高良 盛幸 様



社協会員加入受付中

★戸別会員(各世帯)

年/500円

★賛助会員(個人)

年/1,000円~5,000円未満

★特別会員(企業、個人等)

年/1口:5,000円

★団体会員(福祉関係機関・団体)

年/10,000円

窓口は
社協

ボランティア活動事業

(10代のボランティア研修会、
ボランティア養成講座)

中学生・高校生が「ボランティア体験活動」とおし、報告会を行うことで福祉のまちづくりを学びます。また、手話・音訳講座など、ボランティア養成講座も行っています。



『住み良い環境作りを地域と共に!』

総合ビルメンテナンス業



有限
会社

宜野座ビル管理

代表取締役 伊 芸 美 香

〒901-1112 : 南風原町字本部461番地-55

TEL: (098) 889-6488

消防・浄化槽・空調・警備・害虫防除・清掃・電気工事・貯水槽清掃業

介護支援センター と き

入所、デイサービス利用など介護に関することなら何でもお気軽にご相談下さい。

各種事業

- 居宅介護支援
(無料介護相談、ケアプラン作成等)
- デイサービス
(要支援・要介護者の通所介護)
- 住宅型有料老人ホーム
家庭的雰囲気の中で、利用者1人ひとりに寄り添った介護サービスの提供



南風原町字宮平426番地19(北丘ハイツ内)
TEL(098)888-0515 ホームページ: toki-Kaigo.com

令和3年度福祉作文最優秀受賞作品全4作品 ②

小学五年生の部

『「福祉」という言葉から学んだこと』

翔南小学校 五年 比嘉杏華 ひがきようか

「福祉とは何だろう。」

私は、老人や障がい者の介をするためのし設などのことをまとめていうことが福祉だと思っていました。

それだけかなと思っても福祉のことについて調べてみました。

福祉というと、高れい者や障がい者を対象にした何か特別なことのようにも思われているようですが、「福祉」とは、「幸福」と同じ、「幸せ」という意味の言葉だと分かりました。

障がい者と自分達は平等で、どちらも、「幸せ」でいるために、よりよい生き方をする必要があると知りました。今まで私は、障がい者や、老人、お年よりは違った暮らしをしていると思っていただけ、そうではなく、同じ暮らしの中で必要な助けを受けて生活しているんだと思いませんでした。

私の母は障がい者し設で働いており、三年生の時、お母さんの仕事場に行って箱づめのお手伝いをしたことを思い出しました。

その時、手の不自由な人も、使える手で作業をしたり、皆がんばって一緒に作業をしていました。その時は、自分の方ができる事もたくさんありましたが、とて

もおどろいたことがあります。

目が不自由な人は、耳が聞こえるから、箱づめの方法を教えてもらいながら、手と耳をがんばって使って作業してたり、耳が聞こえない人は、手順を目で見ながら、まねして作業していました。

私がやり方を教えてもらって、箱づめをしてみると、とてもむずかしかったです。

順番をまちがえると、失敗してしまつて大変でした。それなのに、失敗している人が少なかったので、一緒に作業している人達のことをとてもすごいと思いました。

みんなと一緒に話しながらできたのでとても楽しかったことを今でも覚えています。

目が見えない人や耳の聞こえない人に実際会うと、目や耳が不自由な人は、今まで大変な思いもしてきたことがないのかとぎ間に思いました。それから色々調べてみると、手話や、点字ブロックがあるから、自分達と同じ生活することができているということが分かりました。もし、自分が耳が聞こえなかったり、目が見えなかったら皆と違ってきつと大変なこと多いけど自分だけが楽しく思えることや、おもしろいと感じるものももしかしたらあるかもしれないと思いました。

それぞれ「幸せ」のために、障がいをもつ人も、私達も助けあつて暮らしていくことが大切だと思いました。

そのために、みんなが相手のことを思い合つて幸せ生活していければいいなと思いました。



医療法人 社団 輔仁会

嬉野が丘サマリヤ人病院

南風原町新川460番地 ☎ 098-889-1328 (代)

診療受付 平日 8:30~17:30

相談窓口 365日 8:30~17:30

沖縄県認知症疾患医療センター ☎ 098-888-3784

受付中 認知症デイケア・精神科デイケア・デイナイトケア



歯科

直通ダイヤル

☎ 970-6192

高齢者も歓迎



2021年度下期 りゅうぎんユイマール助成金で大喜び 津嘉山ティガネーの会 プロジェクター購入

株式会社琉球銀行(川上康頭取)およびりゅうぎんユイマール助成会(島袋健運営委員長)より、2021年度下期助成事業として、町内では津嘉山ティガネーの会へ助成金が贈呈されプロジェクターを購入しました。これは、沖縄県内の社会福祉、環境保全活動に関する独創的、先駆的な事業・企画を実施する団体や、沖縄県内において障がい者、高齢者、児童に対する社会福祉活動、環境保全活動を実施しているNPO法人およびボランティア活動を行っている団体等に対し助成金を贈呈するものです。今期も多くの応募の中から厳正なる審査の結果、10団体に、総額1,515,000円の助成金が贈呈されました。



**津嘉山
ティガネーの会
より喜びの声が
届きました**

小地域福祉ネットワーク「津嘉山ティガネーの会」では、毎週金曜日(月4回)午前10時より高齢者を対象にボランティアの支えのもとミニデイサービスを実施しており、現在は利用者30人余りが参加しております。

今回のユイマール助成金でプロジェクターを購入することができ、DVD鑑賞や体操を楽しみました。今後のレクリエーションの幅も広がり重宝しそうです。利用者、ボランティア一同この助成金に感謝し、大切にに使わせていただきます。

特例貸付〈緊急小口資金・総合支援資金〉 申請期間延長(令和4年8月31日まで)

新型コロナウイルス感染症の影響を受け休業や失業に伴う収入減で生活資金にお困りの世帯に対しての特例貸付(緊急小口資金・総合支援資金)の申請期間が8月31日まで延長になりました。

緊急小口資金

貸付上限額：20万円以内
据置期間：1年以内
償還期間：2年以内
貸付利子：無利子
保証人：不要

総合支援資金

貸付上限額：(単身世帯)月15万円以内
(2人以上の世帯)月20万円以内
貸付期間：原則3ヶ月以内
据置期間：1年以内 償還期間：10年以内
貸付利子：無利子 保証人：不要

貸付相談対応時間

平日(月～金) 午前9:00～11:30 午後1:15～4:00(最終受付)
※土・日・祝日は受付していません

●申請用紙は当会窓口または、ホームページからもダウンロードできます。

【お問い合わせ】南風原町社会福祉協議会
TEL.098-889-6270(担当:徳田、平良、當銘)

ふくしクイズ!! vol.6

パラリンピックの正式種目ブラインド(見えない)サッカーという競技で使うボールは普通のサッカーボールと何が違うかわかるかな?

A ピカピカ光る

B 音がなる

C いい匂いがする



答えは
この社協だよりの
中にあるよ!



よなみね歯科クリニック

受付時間

月・火・水・金 午前9:30～午後6:00
土 午前9:30～午後5:00
祝祭日 午前9:30～午後6:00

診療科目

一般歯科
小児歯科

休診日 日・木

南風原町宮平59-2 1-1 Tel 800-7005



社会福祉法人 千尋会「嬉の里」

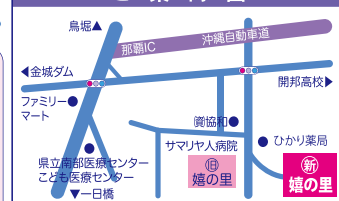
介護に関することなど
お気軽にご相談下さい。

事業種目

- 介護老人福祉施設 嬉の里
- 嬉の里 ショートステイ
- 嬉の里 デイサービス
- 嬉の里 指定居宅介護支援事業所
- 特定有料老人ホーム おつみ寮
- 委託事業(南風原町社協委託)
- 給食サービス

－ 短時間パート 募集中 －

ご案内図



沖縄県南風原町字新川 538 番地
TEL (098) 888-0591
FAX (098) 889-8420



私の子育て

2歳の娘、最近の口癖は『自分でできる～！』 Nさん(津嘉山)



2歳を迎える前は、お着替えや靴を履かせたり歯磨きや手を洗ったり、ご飯も1人では食べれない時は介助したりとお世話の続く毎日でしたが、2歳を迎えた後から「自分でできるー！」「自分でやるー！」と私に何もやらせてくれない娘を隣でハラハラとしながら見守ることが増えました。お料理も一緒にやりたがることも増えてきたので卵を割ったり混ぜ混ぜさせたりと簡単なことですが娘も自分で出来ることが大満足！

そんな娘にも弟(7ヶ月)がいて、最初の頃は足で頭を蹴ったり叩いたり目を離すと弟は毎日泣かされ、とても2人っきりに出来なかったのですが、私が弟にスナックをあげていると「自分もやるー！」とスナックを食べやすい大きさに割ってあげてくれ

ました♪それから、弟にすごい優しくて、私が手が離せなくて弟が泣いている時『なんで泣いてるの？大丈夫？』

と、弟に声かけて寄り添っていました。まだまだ2歳なのに少しずつお姉ちゃんになっている姿を見るととても感心させられました。自我が芽生え、とても手のかかる大変な時期… その中でも本人の意思を尊重しできることは本人にさせてあげて無理のない子育てをしていきたいと思っています。

こんな2人も4月から保育園へ通うことに♪ 外の環境でさらにいろいろなことを学び、これからの2人の成長が楽しみです。



10代のボランティア研修 手話・ブラインドサッカーに挑戦!!



ボランティア体験活動を通して人と人の絆の大切さを肌で感じ、自分たちにできることを共に考え、共に生きる福祉のまちづくりについて学ぶことを目的に中学生・高校生を対象とした研修会を開催します。町内の学校(南風原中学校、南星中学校、南風原高校、開邦高校)に通う生徒は、学校を通して募集いたしますので、福祉教育担当の先生にご相談ください。

なお、南風原町内に居住し町外の学校に通う中学生・高校生で研修を希望する方は、下記まで直接お申込みください。

※コロナ感染症拡大状況により変更・中止する場合があります。

町内外の中学校・高校に通う生徒募集します

日程	○8月6日(土) 10:00～16:30 【講話、ワークショップ、ブラインドサッカー体験】 ○8月8日(月) 10:00～15:00 【手話体験、報告書作成】 ○8月18日(木) 15:00～16:00 【活動報告会】
参加対象者	ボランティア活動に関心のある町内外の中・高校生 ※全日程に参加できる方を募集します。
定員	20人
申込締切り	令和4年7月19日(火)

【お問い合わせ】南風原町社会福祉協議会 TEL.(098) 889-3213 (担当: 赤嶺、外間、具志堅)

ご寄附・ご寄贈ありがとうございました

香典返し (令和4年5月1日から5月31日まで)

- 金城 八重子 様(字喜屋武)3万円
- 故夫 金城 栄喜 様の香典返しとして

寄贈 (令和4年4月1日から4月30日まで)

- (株)ダイワコーポレーション 様お菓子15箱
- (有)トピーコーポレーション 様シャンプー・リンス60ℓ
- 居酒屋こてつ 様馬肉
- ADEMOK 様パン
- イオン南風原店 様幼児用ミルク
- 神里 広、シゲ子 様お米20kg

その他、個人の方から食料品・野菜の寄贈がありました。ありがとうございます。

ふくしクイズ!! の答え

B 音になる

ブラインドサッカーは、ゴールキーパー以外がアイマスクを着用し音の出るボールを使用する、いわゆる「見えないサッカー」です。視覚障がい者と健常者が同じピッチで戦えます。

ボールの転がる音や、仲間、監督、相手の声に耳をすましてプレーするため、観戦するときはゴールが決まるまで心の中で応援して、静かにするのがマナーです。

